

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No. **73**
2022年
4月10日

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

ウクライナと沖縄 今こそ不戦の大切さを



基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会

よしざわ
共同代表 **芳沢あきこ** さん

2003年に「同会」を立ち上げ、「基地も原発もない日本」をめざし、年4回の会報発行と毎月のピラを作成。日本各地で仲間たちが二十数か所で街宣をしている。本人もJR鳥取駅で、毎週金曜日街宣を5年間続けた。孫のお守りの役目を終わり、この4月末で大阪に戻る。

「お世話になりました。ありがとうございます。本来は沖縄の民話研究者。三線も少ししたしなみます。」(芳沢)

現在の沖縄をめぐる論説は、一、オーソドックスな日米安保条約廃棄論から、地位協定改訂論、二、安保公平負担論、米軍基地引き取り論、三、沖縄からの独立論、県外からの独立論、四、辺野古埋立てに関するもの、五、南西諸島自衛隊基地に関するものなど、大別すると五つに分けられると思う。

一の前提は沖縄戦

翁長前知事が菅官房長官に沖縄の苦難の歴史に対する理解を求めた時に、菅氏は「私は戦後生まれなものですから、歴史を持ち出されても困ります」と返答した。この出来の悪い中学生のような発言にはビックリ！昭仁元天皇でさえ「日本には記憶しなければならぬ日がある。終戦記念日と、広島・長崎の原爆忌と、沖縄戦終結の日だ」と述べているのに。

三月二七日放送のTBS「もう一度近現代史」で、保坂さんが「沖縄戦は本土決戦であった。後藤田正晴氏は『自分は当時台湾にいて沖縄戦を全部知っている。沖縄に対して謙虚に向き合わなければいけない』と語っていた」と論説した(この番組は少々甘い分析もあるが、おおよそに於いては正確な番組だと思う)。
一九八〇年以前は自民党

の政治家でさえ、程度の差はあれこのような論議をもっていた。が小泉政権以来、安倍・麻生・菅のような愚昧な政治家が増えてきて、知らないことを恥とも思わない。政治の劣化。これは結局国民の劣化に繋がっている。

日本は連合国に負けた。アメリカは日本を共産主義の防波堤するために、占領を続けたかった。しかし領土不拡大の原則があるため沖縄だけを「国連の信託統治におくまで」という偽装を凝らして占領を続けた。同時に日米二国間の「安保条約」を日本に飲ませた。以後沖縄は異民族支配の無法地帯となった。日本国憲法を求めて、沖縄は本土同胞の愛を頼みに「祖国復帰」を勝ち得た。しかしそれもアメリカの彗星の側面を持っていた。

沖縄が手に入れた憲法は実質上「安保条約の下位」にあるため十分に機能せず、沖縄県民のみならず米軍基地のあるところその弊害を受け続けている。歴代日本政府は抗つことな、唯々諾々とアメリカ依存を強めている。構造的にはこういうことだ。

「安保条約廃棄」は大きすぎる仮題であるためとありあえずは「その下位にある地位協定の改訂」が当面の目標というのが廃棄論者の

のスタンスであろうか。

二は、安保条約に「ミリも触れられない結果生まれてきた課題」

憲法学者木村草太氏は、「日本国憲法九五条は、『一つの地方公共団体のみに適用される特別法は、その地方公共団体の住民の投票において、その過半数の同意を得なければ、国会はそれを制定することができない』とある。これは拘束力があり、沖縄県民がノーと言えば、特別法が制定できない」と語る。

民主憲法が安保を凌駕できる側面であるが、いかにせん、国会はそれに着手しない。

同じく民主主義との関連で安里長従氏が提唱しているのは、「(辺野古新基地を)沖縄に押し付けられるのは差別だ。まず差別をやめて、安全保障の問題を含めて、普天間飛行場の県外・国外移転を全国で議論し、最終的に国会で議論することを各自自治体で決議し、意見書を国に送ってほしい」というもの。全国四七の自治体で意見書があげられ、一定の成果をみせている。「地位協定改訂決議」も全国知事会であがっている。しかしこのようになまっとうな動きもアメリカべったりの政府では「ミリも動かない」。「基地引き取り論」は、

辺野古に同情した若い女性が提唱し、それを東大教授高橋哲也氏が応援するものだ。が、実質的にはどうだろうか？個人では引き取れない。自分の住んでいる自治体の住民として説得するか？可能性はあるか？何年かかるか？「引き取り」を言うことで「沖縄」を訴えることはできるが。「優しさ」だけではどうにもならない。

三、「沖縄からの独立論」

戦後七〇数年間、日本の犠牲になり続けてきた、そしてそれを解決できない日本に失望したところから発するもので、私としてそれができれば、と思う。しかしそれが可能か？

「県民投票で独立賛成を勝ち取り、国連がそれを承認すればよい」という論もあるが、独立したいという県民が何%いるか？5%もない。

県外からの独立論

先日鳥取九条の会で、「沖縄 憲法なき戦後 古関彰一 豊下権彦 みすず書房 2018年」をもとにして「九条・天皇制・沖縄の三位一体構造」という題で話させてもらった。それは昭和天皇が天皇制維持のために、その取引材料として、憲法の平和条項(前文と九条)の担保として沖縄をアメリカに差し出したというものである。九条を大事にする人たちだからこそ、

九条も沖縄の犠牲の上に築かれた、という事実を知って欲しかった。そして今日でも一瞬たりとも沖縄においては九条は動いていない、ということも。

前提は「沖縄が琉球王国であった」という歴史である。

が、参加されていたはずの人から、「沖縄は独立すればいいのに」という言葉を聞いた。なぜ、そういう発言ができるのだろうか。

「国家総動員法をもって男子はみんな闘え」といつている。琉球王が国民にそう命令したら沖縄はどうなっていたか？その意味では琉球王の方が賢明であった、と私は思う。

百歩譲って近代沖縄が植民地であったとする。独立できない植民地の民は宗主国のためにいかなる犠牲を

も耐えるべき義務があるのか？この発言を誘発するものは、ひとえに知識である。それは前述の保坂さんの「日本の歴史で、正確にきちんとして沖縄を思いやるという形での理解はいきわたっていない」という言葉に通底する。同時に日本の歴史でも、明治維新までは、藩は国と同義であった、という認識も合わせて。

加えて、沖縄が独立して、

アメリカと交渉して米軍基地や米琉安保条約を結ばないと仮定する。とアメリカはどうするか。占領時のように沖縄にある基地を日本本土に戻すだろうか。安保条約には「米軍基地を日本のどこにおいてもいい」と書いてあるのだから。

日本はアメリカの編んだ檻の中に入っている。その中で沖縄は、日本の編んだ檻の中でもがいている。歴代日本政府は、金も土地も人もアメリカに提供し、己の延命を図っている。この構造を知れば、我々の歩む道はおのずと見えてくる。

四は割愛。

心配なのは五である。数年前から佐世保を起点として南西諸島には自衛隊基地がどんどん造られていく。弾薬庫をはじめミサイルも搬入される。安倍政権時代の北朝鮮向けミサイル配備はその前哨戦だった。辺野古もその一環である。

自衛隊が増えたと小さな島は反対派より賛成派が増える。民主的手段をもって日本の軍事化は容認される。ウクライナはNATO加盟を恐れられて侵攻の憂き目にあっている。しかしロシアとNATOの背後のアメリカは決して戦争しない。犠牲になるのは緩衝国ウクライナだ。

日本は中国とアメリカの

緩衝国、またはロシアとアメリカの緩衝国ではないか？このまま軍拡を続けていいのか？

今ほど九条の大切さ、中立の大切さを痛感する時はない

冷たい対応もあるなか キラリと光る自治体も

《自治体キャラバン報告会》

昨年秋に鳥取県社会保険推進協議会と大運動実業委員会が共同して実施した自治体キャラバンの報告・学習会が3月16日、オンラインで開催されました。

報告会では、要請内容に対する各自治体の回答の概要について報告を受けた後、注目の回答として評価できるもの、他の自治体にも広げたい施策などが紹介されました。国保料滞納者への対応

自治体で唯一、小中学校の女子トイレに生理用品を置き、必用な人が自由に受け取れるようにしていること(大山町でも今年1月から小中学校と公的機関に現物配備)などが紹介されました。

また、湯梨浜町、日吉津村、大山町で加齢性難聴者への補聴器助成が実現。学校給食費は智頭町が全員に全額補助、大山町は4月より全額補助、若桜町は半額補助、境港市は就学援助家庭に全額補助など、先進事例を共有しました。

憲法記念日のイベント紹介

いまこそ生かそう平和憲法
——日本国憲法75年の原点と現点——

【講演】
龍谷大学教授
大阪憲法会議幹事長
丹羽徹さん

資料代 300円

5月3日(火・祝)
午前9時45分～11時45分

米子コンベンションセンター 第7会議室
講演はオンラインです

【米子】ロシアによるウクライナへの武力侵略により、命と暮らしが脅かされる事態の中、この機に乗じて、安倍元首相、維新の会などが「憲法9条は無力」「核を共有」

「敵基地攻撃能力が必要」などと、戦争する国づくりのため、戦争を繰り返していることとは断じて許されません。この機に乗じた憲法9条改悪の策動を許してはなりません。

改憲策動の動きがある中、鳥取県憲法会議、鳥取県九条の会、米子革新懇など呼びかけ22団体は、学習も力に、平和憲法学習講演会を開催します。ぜひご参加下さい。

鳥取県憲法会議
事務局長 森下克彦

【鳥取】例年実施している「平和の鳥フェスティバル」は、今年もコロナ感染症対応のため、十一時よりズームとYouTubeで同時配信します。コロナに負けずに頑張っ



写真は昨年のハト風船の様子

ている県内各地の取り組みの紹介や、ウクライナ軍事侵攻に関する意見交換等の後、正午に鳥取医療生協レインボーセンター屋上よりハト風船を空に放ちます。

実行委員会事務局
是枝清一